

小出小学校の特色（令和8年度版）



1 教育理念（スローガン）

地域と共に育つ、輝く小出の子



小出小のシンボル「おくろじの木」

小出小学校は、明治6年に開校した歴史のある学校です。また、豊かな自然と協力的な地域は、子どもを育てるためには、とても素晴らしい環境と言えます。小出地区（まちぢから協議会）においては、子どもたちが健やかに成長するように「小出子どもの街宣言」が作られています。学校は、その理念も取り入れながら、地域と共に子どもたちを育てる開かれた学校づくりを実践しています。

2 学校教育目標

【心身ともに調和のとれた人間になるために】

・しっかり学ぶ子 ・助け合う子 ・進んで働く子 ・健康で元気な子

- ・「しっかり学ぶ子」とは、自分で考え、正しく判断して、課題解決できる子
- ・「助け合う子」とは、自尊感情（自己肯定感）が高く、友だちをはじめとする他の人の立場や気持ちを大切にできる子
- ・「進んで働く子」とは、与えられた役割を実行するだけでなく、集団生活の中で課題を見つけ、他者と協力して活動ができる子
- ・「健康で元気な子」とは、基本的な生活習慣を身につけ、健康的な生活をおくり、元気に学校生活を過ごすことができる子

3 私たちの目指す学校

＜地域に学ぶ学校＞

学区には、茅ヶ崎市の他の地域にはない様々な 歴史・文化・自然が豊富にあります。そのような地域の特色を生かして、自然や文化・歴史などを体験的に学ぶ活動をたくさん取り入れています。地域の教育力をお借りしながら、小出地区の学校として充実した学びを実践していきます。



校舎4階からの風景

＜自然あふれる学校＞

小出小学校には、素晴らしい自然があります。敷地にゆとりがあり、保護者・地域の方々に整地していただいた校庭を始めとして、活動する場所がたくさんあります。地域と一体化した恵まれた自然の中で、本物に触れながら、ゆったりとした気持ちで学ぶことができます。各学年2クラス（特別支援学級3クラス、全校児童322名）の小規模の学校ならではの特色を生かし、子どもたちの個性や可能性を大切にしています。



校地内の豊かな自然

4 具体的な実践

＜地域の特色を生かした教育の実践＞

- ・清水谷探検（１年）
- ・県立茅ヶ崎北陵高校との連携授業「防犯教室」（１・２年）
- ・県立茅ヶ崎里山公園の畑を利用した「里山学校」（２年）
- ・学区探検（３年）
- ・小出コミセンとの連携行事「１０歳のつどい」（４年）
- ・小出小田んぼ支援隊（地域の農家の方々等）の支援による田んぼ学習（５年・２年）
- ・茅ヶ崎市社会教育課等との連携授業「下寺尾廃寺・下寺尾官衙遺跡群」（６年）

※年度によって実施しない場合や活動を変更する場合があります。



清水谷探検（１年）



里山学校（２年）



学区探検（３年）



田植え（５年）



１０歳のつどい（４年）



子どもと学ぶ下寺尾遺跡（６年）

＜異学年交流活動の取り組み＞

- ・登校班による集団登校
茅ヶ崎市の約１／５を占める学区
→登校の安全確保と異学年交流としての集団登校
- ・たてわり活動
→１クラスを６つに縦割りした異年齢グループによる活動、小出フェスティバル等
- ・広いグラウンドで、休み時間等での異学年交流活動
- ・日常の授業、清掃等での交流活動



小出フェスティバル

＜分かる授業、楽しい授業を目指して＞

- ・個別支援学習指導（ぐんぐんタイム）
→保護者の承諾を得て担当教員が別室等で個別支援



たてわり活動